



和牛・乳牛 118 頭が出場 小林市総合畜産共進会

4月11日、第12回小林市総合畜産共進会が小林地域家畜市場で行われました。和牛3部門に94頭、乳牛4部門に24頭が出場。和牛は寛継男さんの「あやか2」号が、乳牛は高佐政昭さんの「クロスファーム アーネスト エステル」号がグランドチャンピオンを獲得しました。各部門の順位は以下のとおりです。【結果・敬称略(順位順)】■和牛の部▽雌子牛=寛継男、立山健二、下村美輝、立山健二、上別府美利▽育成1類=東孝一、中津清次、山田福治▽育成2類

Photo 1 和牛の部グランドチャンピオンの寛さん
2 乳牛の部で各部門の優等一席獲得者と関係者ら

二木伸之、黒木領一、竹山昭徳■乳牛の部▽乳牛1類=谷口俊文、橋ノ口芳文、中村大輝▽乳牛2類=轟木和広、谷口俊文、奥野宏治▽乳牛3類=谷口俊文、石神達郎、後藤政文▽乳牛4類=高佐政昭、谷口俊文、温水洋志■種牛団体▽和牛の部=野尻町畜産振興会■枝肉共励会▽肉牛の部=(有)馬場牧場■環境衛生共励会▽養鶏の部=海野春男▽養豚の部=黒仁田道男■乳質改善共励会▽乳牛の部=(有)ダイワファーム■功労者表彰=立山ヒロ子、池田正二

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、須木地区

LET'S ENJOY SUP in 須木

3月19日から20日にかけて、小野湖漕艇特設会場にてSUP(スタンドアップパドルボード)のツアーと体験会を実施しました。

ツアーには宮崎市や都城市から、体験会には小林市内やえびの市から10人ほど参加。参加者の中には、10年ほど前に体験したという人や初心者の人などもおり、和気あいあいとした雰囲気です。

魅力を味わっていました。浮き橋から漕いで出ると開ける小野湖の雄大なロケーションにビックリ。胸を躍らせながら滝へと進み、景色を楽しみながら周遊しました。友人を誘ってまたチャレンジしたいとの声もあり、大変満足していただけたようでした。

これからもこのスポーツを通して、小野湖や須木の魅力を発信していきます。



天候もよく、開放的なSUPクルージングを楽しみました。

小野湖は須木地域の貴重な観光資源です。恵まれた自然環境を大切にしながら、交流人口増加を目指します。



元気づくり部会 富永圭一郎部会長

市民の生命、財産を守る 小林市消防団入退団式を開催

4月2日、野尻町農村環境改善センターで平成29年度小林市消防団入退団式が開催されました。34人が退団、新たに20人が入団し、今年度は508人が消防団活動にあたります。芝原靖彦消防団長は、「市民の生命、財産を守る使命を全うしてください」とあいさつしました。



新入団員を代表して、第8分団第1部(野尻地区)の川内亮太さんが「郷土愛護に基づき使命達成に努めます」と宣誓しました

小林駅前交番がリニューアル さらに安心・安全なまちへ

4月17日、地域観光交流センター建設などに伴い、新しく建設された小林駅前交番の開所式が行われました。木造2階建てで、女性警察官も働きやすい環境を整備。同交番の高崎章次所長は「地域住民と協力し安心安全なまちづくりに取り組みます」と決意を述べました。



新しく建設された交番。6人の警察官が24時間体制で3交代制の2人ずつ勤務するほか、警察官OBの交番相談員も1人配置されています



楠本幸二代表取締役社長は「畜産のまち小林の良質な畜産物を日本、世界へとアピールしていきたい」と話していました

工場増設で新規雇用 15 人 サンキョーミートと立地協定

3月28日、市はサンキョーミート株式会社と企業立地協定を締結しました。同社は、牛や豚のと畜業や食肉処理加工などを行う会社。今回、細野にある霧島ミート工場に豚肉カットを行う加工施設を増設します。また、増設に伴い今年度、15人の新規雇用を予定しています。



同社 終崎庄二代表取締役と吉村さん。終崎さんは「名前のとおり皆で協力し、いい施設にしていきたい」と話していました

江南跡地の施設の名称が 「TENAMUビル」に決定

4月15日、小林まちづくり(株)が江南跡地に建設中の施設の名称が「TENAMUビル」に決定し、授賞式が行われました。応募総数359点の中から審査の結果、南小1年の吉村太成さんが最優秀賞に決定。吉村さんは「家族と一緒に考えました。選ばれてとてもうれしいです」と話していました。

西諸の医療・介護の連携推進

3月27日、西諸医師会本館で、第3回西諸地域在宅医療介護連携推進協議会が開催されました。これまでの活動経過報告や平成29年度事業計画(案)などが提案され承認。また、西諸地域の医療と介護の連携の在り方などについて議論されました。



市内21法人目のNPO法人設立

3月27日、NPO法人通り町の設立認証書交付式を行いました。通り町は、高齢者の雇用創出や子どもと高齢者の交流事業などを展開。設立代表者の吉村雄一郎さんは「元気な高齢者が活躍するまちづくりに取り組みます」と話していました。



ライオンズクラブ 小林LCが自転車用ワイヤー錠寄贈

3月30日、小林ライオンズクラブが市内の新中学1年生に自転車用のワイヤー錠を寄贈しました。同クラブの宮永大輔みやながだいすけさんは「青少年育成のため、自転車の盗難防止に有効な二重ロックを推進してほしい」と話していました。



西諸生コン組合が防犯ブザーを寄贈

3月28日、西諸地区生コンクリート事業協同組合が市内の新小学1年生に防犯ブザーを寄贈しました。同組合の西村賢一にしむらけんいち理事長は「声掛け事案などが aumentando 中で、少しでも役立てていただければ」と話していました。



危険物安全協会がクリアファイル寄贈

4月5日、西諸小林地区危険物安全協会が市内の新小学1年生にクリアファイルを寄贈しました。同協会の兒玉龍之介こだまりゅうのすけ会長は「少しでも新入学児童に消防車や救急車などについて理解を深めてもらえればうれしい」と話していました。



美化活動などで安心・安全なまちに

4月3日、にっこばまちづくり協議会が「地域の安全・安心活動推進モデル地区」に指定されました。同協議会の貴嶋憲太郎きじまけんたろう会長は「防犯に効果がある美化活動、特に花を使ったまちづくりに力をいれていきます」と意気込みを話していました。



西諸の医療に貢献できる看護師に

4月10日、西諸医師会立小林准看護学校の入学式が開催され、16人の新入学生が看護の道への志を立てました。新入学生に園田定彦そのださだひこ校長は「初心を忘れず、西諸地域の医療に貢献できる看護師になってほしい」と祝辞を述べられました。



交通安全協会が反射タスキなど寄贈

4月6日、小林地区交通安全協会が市内の新小学1年生に交通安全ルールが記載された下敷き、新中学1年生に反射タスキを寄贈しました。同協会の溝口誠二みぞぐちせいじ会長は「子どもたちの交通事故防止に活用してほしい」と話していました。

